

作業者の皆さんへ

ジッカル 草刈りマニュアル

だれが刈っても、同じ仕上がりには。

作業の手順と、安全のための決まりをまとめました。

初めての現場の前に、ひととおり読んでください。



ジッカルの草刈り、5つの約束

お客様は遠くに住んでいて、現地を見られません。お客様が見るのは、**あなたの写真だけ**です。次の5つを、どの現場でも同じように守ってください。

1

刈るのは、囲んだ線の中だけ

お客様が地図で囲んだ線が作業の範囲です。お隣との境目は、少し内側で止めます。

2

草刈り機で刈って、草はその場に置く

手で抜く・庭木の剪定・刈った草の持ち帰りはしません。木・竹・危ない急斜面は刈らずに残します。

3

作業の前と後を、同じ場所から写真で

作業前3枚・作業後3枚以上。これがお客様へのご報告で、あなたの報酬の合図です。

4

安全が一番

保護具をつけ、周り15mに人がいないことを確かめてから刈ります。暑い日は無理をしません。

5

お客様とは、直接やりとりしない

連絡は全てジッカルを通します。現地で別の作業を頼まれても、その場では受けません。

1日の流れ

出発前

2日前メールに返事
範囲・★・天気
道具の点検

着いたら

範囲の確認
危ない物を拾う
作業前の写真

刈る

右から左へ
刃の左前で
高さ約5cm

仕上げ

刈り残しを見る
飛んだ草を戻す
作業後の写真

報告

「作業が終わりま
した」
その日のうちに振
込（初めの3件は2
日後）

やってはいけないこと

× 線の外を刈る・お隣の土地に入る

× 刈った草を持ち帰る・燃やす・よそに捨てる

× 家や物置に入る・敷地の物を動かす

× お客様と直接連絡をとる・直接取引する

× 保護具なし・人が15m以内にいるのに刈る

× 番地や写真を、他に使う・人に見せる・SNSに載せる

服装と道具

刈払機の刃は、小石や木くずを**ものすごい速さで飛ばします**。目のけがは失明につながります。**顔と目の保護は、どの現場でも必ず**です。

帽子

つばのあるもの。日よけにも

フェイスシールドかゴーグル **必ず**

飛んでくる石から目と顔を守る

イヤーマフ・耳栓

エンジンの音から耳を守る

長袖・長ズボン

虫・草の汁・飛び石から肌を守る。暑くても半袖にしない



厚手の手袋

振動と刃から手を守る

肩掛けバンド

刈払機の重さを肩で支え、刃の高さを保つ

すね当て

飛び石と刃からすねを守る

滑りにくい安全靴・長靴

斜面やぬれた草で滑らない

持ち物

- **刈払機**（刃に飛散防止カバーがついたもの）
- **水・塩分・タオル**（夏は多めに）
- **替えの刃・ナイロンコード**（石が多い所・窓の近くはナイロンコードに）
- **救急セット・虫よけ・蜂よけスプレー**
- **燃料**（携行缶。機械に合う燃料）と給油用のじょうご
- **刃のカバー**（運ぶとき・置くとき）
- **草を集める熊手**（道路に飛んだ草を戻す用）
- **スマホ**（充電しておく。位置情報をオン）

スマホの準備：マイページをホーム画面に置く

置いておくと、アイコンを押すだけでマイページが開けます。iPhoneはSafariの共有ボタン → 「ホーム画面に追加」、AndroidはChromeの右上の： → 「ホーム画面に追加」。手順はマイページの「設定」にもあります。アイコンは合言葉なしで開けるので、自分のスマホにだけ置いてください。

出かける前に、4つ確かめる

1 2日前の確認メールに、作業のページで返事をする

作業予定日の**2日前の朝7時**に「作業の確認」のメールが届きます。作業のページを開き、「○月○日（曜）の午前に行きます」「午後に行きます」のどちらかを押してください（まだ分からないときは「時間はまだ分からない」）。午前・午後は、お客様への目安としてお伝えします（時間の約束ではありません）。押すと、お客様に「作業の確認がとれました」と届きます。**返事がないと、前日にもう一度メールが届き、ジッカルにも知らせが行きます。**行けないときは、同じページの「行けなくなったとき」から。

2 作業のページで、範囲・日にち・★を確かめる

番地のメールにある**作業のページ**を開き、**緑の線で囲んだ範囲**と作業予定日を見ておきます。航空写真で、お隣との境目・塀・木・物置の場所を頭に入れておくと、現地で迷いません。「**★草の中にある物・残したい物**」の枠があれば、お客様が書いたことと**お客様が上げた写真（5枚まで）**を見て、どこに何があるかを覚えておきます（作業の日までに増えることがあるので、出かける前にもう一度）。地図の**ピンクの丸**は、お客様が「残す」と印をつけた所です（花壇・野菜・植木など。丸の中は刈りません）。

「 **この場所のカルテ**」があれば必ず開きます。前回までの作業（前と後の写真・わざと残した所・お客様のお返事・「気になるところ」とジッカルの判断・申し送り）が入っています。前回の作業者が別の人でも、同じように仕上げられます。

3 天気を確認する

雨・強い風・雷の日は刈りません。ぬれた草は滑り、刃に巻き付きやすくなります。行けないと分かったら、その時点で作業のページの「**行けなくなったとき**」から「**別の日なら行ける**」で日を変えてください（天気の理由なら、前日・当日でも評価は下がりません。7日より先になりそうなとき・特急や超特急で期限に間に合わないときはジッカルへ）。**日にち指定**の仕事は、お客様が選んだ1週間の中でしか日を変えられません（早く刈りすぎると、その日までにまた伸びるため）。

4 刈払機を点検する（始業点検）

- **刃にひび・欠けがないか。**あればすぐ交換（割れた刃は飛びます）
- **刃を留めるネジがしっかり締まっているか**（多くの機械は左ネジ）。回り止めの工具は外す
- **飛散防止カバー**がついているか、他のネジがゆるんでいないか
- **燃料**が足りるか。スロットルを離すと刃が止まるか

運ぶときは、刃にカバーをかけて。車に積むときは燃料がこぼれないように。エンジンをかけるのは現地で、**給油した場所から3m以上離れてから**です。

刈る前に、現場を見る

1 範囲を見比べる

作業のページの航空写真と現地を見比べ、**線の中**を確かめます。線と現地が合わないとき、線の外にも刈ってほしそうな草があるときは、刈る前に「**現地が申し込みと違うとき**」から知らせてください。

刈る所に迷ったら、刈る前に「**お客様に動画で尋ねる**」（やり方は12ページ）。

「家の北側・幅2m」のような範囲は8ページ。



刈る前に、刃が当たると危ない物を拾う

2 ご近所の方に声をかけられたら

「持ち主の方のご依頼で、ジッカルから草刈りに来ました」とお伝えください。
お客様のお名前や連絡先は言いません。

3 危ない物を拾う・よける

作業のページの「★草の中にある物・残したい物」（お客様が書いた文と写真）を先に見ます。書いてある物・写真に写っている物・地図のピンクの丸の周りは、刈らずに残すか、手前で止めるか、ナイロンコードで。石・空き缶・ガラス・針金・木の杭・ホース・枝は、刃に当たると飛んだり巻き付いたりします。刈る前に草の中を歩いて拾い、**敷地のすみにまとめて置いておきます**（持ち帰りません。作業後の写真に写るように）。動かせない物は、その周りを刈らずに残すか、ナイロンコードで。

4 蜂の巣・ヘビを見る

軒下・木の枝・植え込み・地面の穴に**蜂の巣**がないかを見ます。見つけたら近づかず、その周りは刈らずに残して写真で知らせてください。ヘビを見たら、離れるまで待ちます。

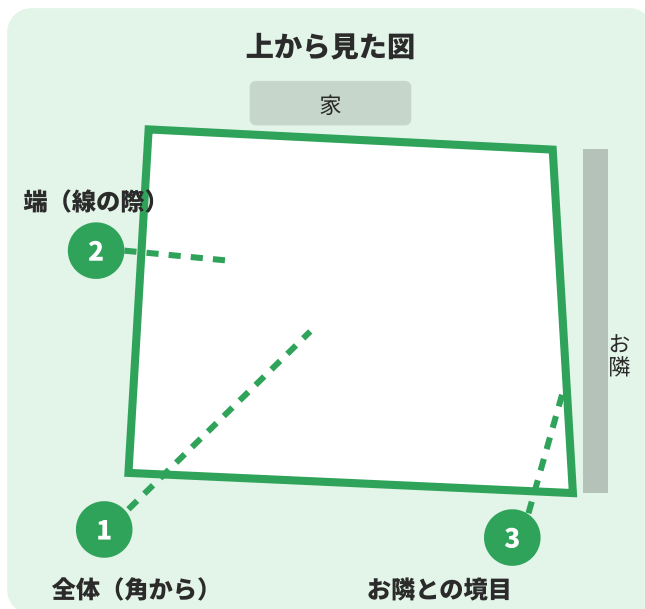
作業前の写真を、3枚以上

お客様は、あなたの写真で「前と後」を見比べます。作業後の写真を同じ場所・同じ向きから撮るので、どこから撮ったかを覚えておいてください。



庭の角から、全体が入るように

- **作業のページのボタンから、その場で撮る**
(カメラが開きます。前から持っている写真は使えません)。最初に**位置情報の許可**を。現地で撮ったことの確かめに使い、自動振込の条件です
- **明るく、ぶれずに。**横向きで、範囲がなるべく広く入るように



① 全体 ② 端 ③ お隣との境目。作業後も同じ3か所から

- **写さないもの：**人（ご近所の方など）・車のナンバー・家の窓の中
- 木・竹・蜂の巣など**残すところ**があれば、それも写す
- **もともと壊れていた物・置いてある物は、**
「もともと壊れていた・置いてあった物があつたら」から写真で知らせる（後で「壊した」と言われたいため）

刈り方の基本：右から左へ

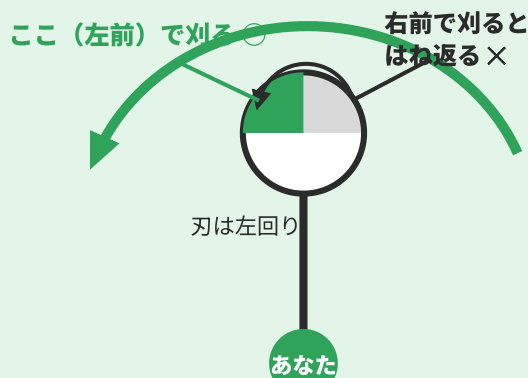


両手で持ち、刃はひざより下・地面から約5cm

- **右から左へ**、刈る幅は1.5mくらい。**往復刈り・大振り**はしない
- **刃の左前**で刈る。右前で当てると刃がはね返り（キックバック）、とても危険
- 刃は**ひざより下**。**土や石に当てない**（刃が欠けて飛びます）
- 草が高くて中が見えないときは、**まず上の半分**を刈り、**中を見て物を拾ってから**低く仕上げる

上から見た図（あなたは下）

右から左へ、ゆっくり

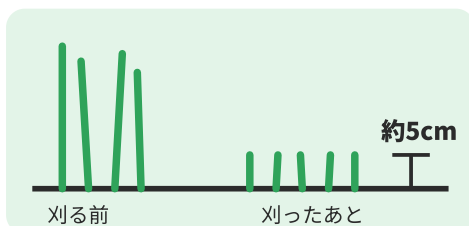


刃は上から見て左回り。**左前**で当てると草は左へ倒れ、はね返りが起きにくい

周り15mに人がいないか、刈る前に必ず見る。人が近づいたら、**離れるまで止める。**話すときはエンジンを止めてから。

- **窓・車・ガラス・人の近く**では、石が飛ばない向きで。刃の回転を落とすか、ナイロンコードに替える

刈る高さは、地面から約5cm（指3本分）にそろえる

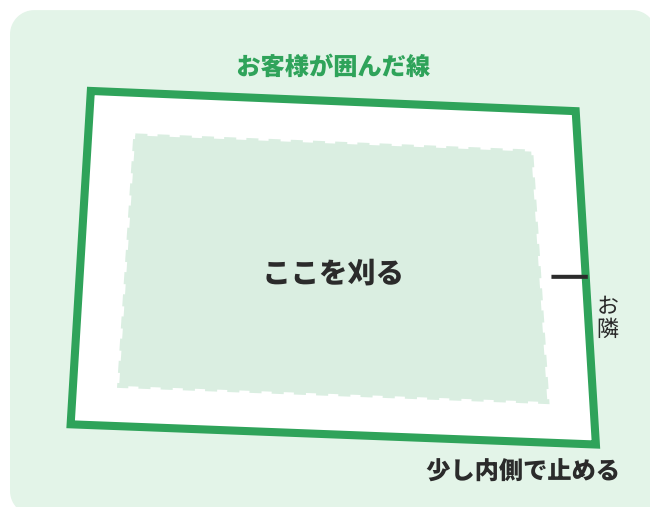


地面ぎりぎりまで刈ると、刃が土や石に当たって欠けたり、石が飛んだりします。土がむき出しになって雨で流れたり、かえって草が生えやすくなったりもします。高すぎると、お客様から「刈った感じがしない」と言われます。

どの現場も約5cm

にそろえると、写真でも仕上がりが同じに見えます。塀ぎわ・物の周りも、できるだけ同じ高さで。

境目は内側で止め、刈れないところは残す



刈り残しより、お隣を刈るほうが大きな問題になります

境目

- お隣との境目・線があいまいなところは、**少し内側で止める**
- お隣の木・花・畑には触れない。塀ぎわは、塀に刃を当てない
- 線の外は、頼まれていても刈らない（ご近所に頼まれたときも）
- 「家の北側・幅2m」のような範囲は、お客様が「家の周り」で選んだ帯。壁から外側へその幅だけ刈る。窓・室外機・配管のすぐ近くは石が飛ばない刈り方にするか、残して「わざと残した所」で知らせる

刈らずに残すところ

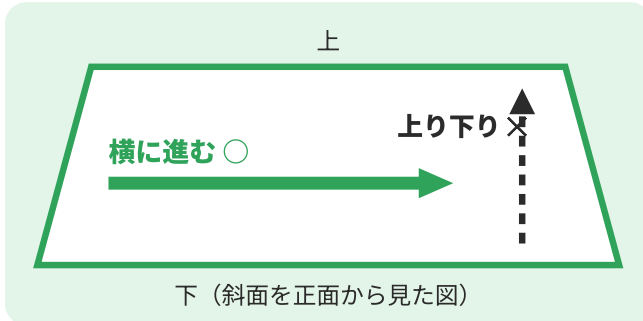
- 木・竹・背丈を超えるやぶ
- 立つと危ない急斜面・段差
- 蜂の巣の周り・動かせない物の周り

わざと残したところは、作業のページの「わざと残した所があったら」から、写真と理由を知らせてください。お客様の写真のページに出るので、「刈り残し」と言われません。報酬は変わらず、評価も下がりません。刈るか迷う所は、刈る前に「お客様に動画で尋ねる」から。範囲の線と現地が大きく違う（線の外まで刈ってほしそう）・入れないときは、「現地が申し込みと違うとき」から知らせ、刈らずに返事を待ってください。

敷地の物には触らない。植木鉢・物置・車・自転車などは動かさず、その周りを丁寧に。家や物置の中には入りません。

けがをしない、させない

斜面



- 滑りにくい靴で、足場を確かめながら**横に進む**
- 斜面の上と下で、同時に刈らない

刃に草が巻き付いたら

必ずエンジンを止め、刃が完全に止まってから手で取る。エンジンをかけたまま取らない。

給油

エンジンを止め、冷ましてから。火気（たばこ）厳禁。こぼれたら拭く。エンジンをかけるのは、給油した場所から**3m以上離れて**。

蜂・ヘビ・マダニ

- 蜂が飛んできたら、手で払わず**姿勢を低くしてゆっくり離れる**。刺されたら作業をやめ、具合が悪ければ119番
- マダニ：首元・袖口をしめる。**帰ったら体確かめる**



30分ごとに、日陰で水と塩分

休む

- 続けて使うのは**30分まで**。そのあと**5分以上休む**（手のしびれ・振動の害を防ぐ）
- 刈払機を使うのは**1日2時間まで**が目安

暑い日（熱中症）

- **朝夕の涼しい時間**に。真昼を避ける
- **のどが渇く前に**、20～30分ごとに水と塩分
- めまい・吐き気・頭痛があったら**すぐやめて**、日陰で体を冷やす。治らなければ119番
- **暑さ指数（環境省）が31以上の日は**、「行けなくなったとき」で理由「暑さ」を選んで日を変えてよい（評価は下がらない）

雷が鳴ったら、すぐにやめて車の中へ。

雨が強くなったときも中止し、「行けなくなったとき」から別の日を選べます。

最後の5分で、仕上がりが決まる

1 刈り残しを見る

エンジンを止めて範囲をひと回り歩き、**角・堀ぎわ・線の際・物の周り**の刈り残しを確かめます。残すところ（木・竹・急斜面・蜂の巣）以外は、丁寧に。

2 飛んだ草を、敷地の中に戻す

道路・側溝・お隣に飛んだ草は、熊手などで敷地の中に戻します。刈った草は敷地の中に置いたままで、**持ち帰らない・燃やさない・よその場所に捨てない**（刈った草の処分は、市区町村ごとに決まりがあるためです）。

3 拾った物はすみにまとめる

作業の前に拾った空き缶・石などは、敷地のすみにまとめて置き、作業後の写真に写します。

4 作業後の写真を、同じ場所・同じ向きから3枚以上

作業前と同じ①全体 ②端 ③お隣との境目を撮ります。お客様が見比べやすいように、**立つ場所と向き**をそろえてください。

よい仕上がり

- 高さが**約5cm**でそろっている
- 線の中に刈り残しがない
- 道路・お隣に草が出ていない
- 前と後が同じ向きで比べられる

丁寧な1回目が、次の仕事になります。

同じお客様からまた依頼が来たときは、一覧に出す前に、前回作業したあなたに先にお声がけします。

「作業が終わりました」で、その日に振込

1 作業のページで「作業が終わりました」を押す

作業前・作業後の写真が3枚ずつそろそろと押せます。押した日が作業の完了日です。押したあとは写真を足したり消したりできないので、見直してから。ボタンの上の「次にこの場所を刈る人への申し送り」に、次の人が助かることを一言（車を止められる所・隠れた井戸や段差・境目の目印など）書いてください。カルテに残ります（お客様の名前・連絡先は書かない）。

2 報酬は、報告したその日のうちに

銀行とつないだ仕組みで、自動で振り込みます（土日・祝日も）。初めの3件だけは報告の2日後（お客様が「ありがとう」を押したら、その時点で）。口座に入る時間は、お使いの金融機関によります。振込のお知らせメールに、あなたの記録（ランク・評価）も書いてあります。途中でやめたときは、最後まで仕上げて報告した方に払います。作業のページは、振込から30日で閉じます（番地と写真を守るため）。

3 写真はお客様に届く

お客様は写真を見て「ありがとう」か「気になるところがある」を選びます。「ありがとう」の割合は、ランク（取り分）とご案内の順番に使います。評価（ご案内の順番）は、「ありがとう」と予定日どおりの2つで決まります。「気になるところがある」は、ジッカルが写真とあなたのお知らせで確かめ、あなたの落ち度のときだけ評価に入ります。手直しが要るときは、7日以内に伺い、作業のページの「手直し」から写真を上げます（報酬は同じ）。

自動振込が止まる時（ジッカルが確かめてから振り込みます）

- 写真に位置情報がない・現場から500m以上離れた場所で撮った
- 作業予定日より前の報告、前から持っていた写真・似た写真の使い回し、「現地が違う」やお客様の「気になるところ」が片づいていない

注意と登録の取り消し（利用規約 第15条。どれもメールで理由をお伝えします）

- 評価がとても低い（直近10件で落ち度ありの「気になる」3件以上か、40点未満）：まず注意。30日で直らないと取り消し
- 連絡のない欠席：1年で1回目は注意、2回目はお案内を止めて30日後に取り消し。お客様との直接の取引は、すぐ取り消し
- ご案内に90日返事がない：「待機」（14日前のお知らせで「続けます」を押せば続く）

こんなときは、こうする

刈る所に迷う	作業のページの「困ったとき」→「お客様に動画で尋ねる」。30秒までの動画と一言。最大30分待つ（その間は、はっきりしている所から刈る）。お返事はページの一番上に出る（メールでも届く）。返事がなければ申し込みどおり。 電話番号などの連絡先は交換しない。
現地が申し込みと違う	刈る前に、作業前の写真を撮って作業のページの「現地が申し込みと違うとき」から。木・竹・急斜面だけなら残して刈ってよい。線と現地が合わないときは、返事を待つ。
入れない (門・鍵・道)	無理に入らない。門や塀を越えない。写真を撮って「現地が違う」から知らせ、返事を待つ。
行けなくなった (天気・暑さなど)	分かった時点で、作業のページの「行けなくなったとき」から。 天気・暑さのときは「別の日なら行ける」 を選ぶ（天気・暑さの理由なら、前日・当日でも評価は下らない）。それ以外は他の方に回すこともできる。前もって知らせれば評価は変わらない。連絡なしの欠席は、報酬なし・約束違反（1年で2回目は登録の取り消し）。
物を壊した・ 人にけがをさせた	すぐ作業を止める。けが人がいれば手当てと119番。 壊した物・場所の写真を撮り、作業のページの「事故・破損を知らせる」から、すぐジッカルに知らせる。ご自身の賠償責任保険の会社にも、今日のうちに連絡。 その場で弁償の約束はしない。 お客様への第一報はジッカルから。
自分がけがをした	作業をやめて手当てを先に。ひどいときは119番。「事故・破損を知らせる」からジッカルに知らせる（ご自身のけがは、ご自身の保険で備えます）。
報告を忘れた	済んでいれば、すぐ写真を上げて報告を。翌日に催促が届き、 3日たつと他の方に回します （報酬なし）。
ご案内への返事が遅れた	評価は下らない （評価は「ありがとう」と予定日どおりの2つ）。夜中や作業中でも大丈夫。ただし返事の期限を過ぎると、他の方に回る。
賠償責任保険を更新した	マイページから、 新しい証書の写真と期限（満期日） を上げる。期限が切れると、確認が済むまで仕事のご案内が止まります。
振込先を変えたい	マイページの「手続き」→「振込先」から入れ直す。
ご近所の方に苦情・質問された	丁寧に聞き、「ジッカルに伝えます」と答える。言い争わない。内容をジッカルに知らせる。
別の作業を頼まれた	その場では受けず、「ジッカルを通してください」とお伝えする。お金は受け取らない。

やってはいけないことは、2ページにあります。

現場のチェックリスト

印刷するか、スマホで開いて、現場ごとに見直してください。

出発前

- ☐ 2日前のメールで「〇月〇日の午前／午後に行きます」を押した
- ☐ 作業のページで範囲（緑の線）と予定日を見た
- ☐ 「★草の中にある物」の文と写真を見た
- ☐ 天気確かめた（雨・強風・雷ならやめる）
- ☐ 刃にひび・欠けがない／ネジが締まっている
- ☐ 飛散防止カバーがついている
- ☐ 燃料・替えの刃（ナイロンコード）
- ☐ スマホの充電・位置情報オン
- ☐ 水・塩分・タオル・救急セット・虫よけ

服装

- ☐ 帽子
- ☐ フェイスシールドかゴーグル（必ず）
- ☐ イヤーマフ・耳栓
- ☐ 長袖・長ズボン
- ☐ 厚手の手袋・すね当て
- ☐ 滑りにくい靴
- ☐ 肩掛けバンド

現場で・刈る前

- ☐ 航空写真と現地を見比べた（線の中だけ）
- ☐ ★に書いてある物の周りは残した・手前で止めた
- ☐ 石・缶・針金・杭・ホースを拾った
- ☐ 蜂の巣・ヘビがいないか見た
- ☐ 作業前の写真3枚（全体・端・境目。作業のページのカメラで）
- ☐ 違うところは「現地が違う」から知らせた
- ☐ 周り15mに人がいない

仕上げ・報告

- ☐ 高さは約5cm（指3本分）でそろっている
- ☐ 刈り残し（角・堀ぎわ・線の際）を見た
- ☐ 境目は少し内側で止めた
- ☐ 道路・側溝・お隣の草を敷地に戻した
- ☐ 拾った物をすみにまとめた
- ☐ 作業後の写真3枚（同じ場所・同じ向き）
- ☐ 「作業が終わりました」を押した

分からないことは、ジッカルへ（番地のメールに返信）。**迷ったら、刈らずに聞く。**それが一番安全で、一番の仕上がりです。

月1回の見守り：毎回、同じ8か所

見守りを受けた方へ。空き家の様子を**外から見て**、写真と一言で知らせる仕事です。家の中には入りません。

1 時期が来たら、メールが届く

1回目はお客様のお支払いの確認から14～28日後の間、2回目からは前回から20～35日の間。行けないときは、すぐジッカルへ。**受けている草刈りと時期が重なったら、草刈りの日にまとめます**（刈り終えたあとに撮る）。

2 見守りのページで、8か所を撮る

ボタンを押すとカメラが開きます。**前回の写真が隣に出るので、同じ位置・同じ向きで**。前から持っている写真は使えません。

3 「異常なし／様子見／対応が必要」と一言

「様子見」「対応が必要」のときは、何がどうなっているかを書く。草が30cmを超えていたら印を（Hの物差しの写真で）。

4 その日のうちに報告 → 報告した日に振込

お客様とご家族に写真が届きます。写真の位置・時刻などで確かめが要るときは、確かめてから振り込みます。

撮る8か所

- A 正面（道路から全体）
- B 右側 C 左側 D 裏側
- E 郵便受け（取り出さない）
- F 玄関と窓（開けない）
- G 屋根と雨どい（地上から）
- H 草（物差しと一緒に）

しないこと

- × 家の中に入る・鍵を預かる
- × 郵便物を取り出す・物を動かす
- × 直す・片づける（写真で知らせるだけ）
- × 門や塀を越える
- × 不審な人に近づく（110番かジッカルへ）

「敷地に入らない」依頼は、道路など敷地の外から見える範囲だけ撮ります。右・左・裏が見えなければ「撮れない」を選んでかまいません。**防犯・警備の仕事ではありません。**

台風・地震の後：安全が先

台風の暴風警報・特別警報・震度5弱以上があった地域では、見守りの**次の回の前倒し**や、1回だけの**臨時見守り**をお願いすることがあります。

1 メールが届く

前倒しは、いつもの1回分の報酬。臨時見守りは、お客様の料金 5,500円 のランクの取り分（ビギナーなら3,800円）で、見守りのページで確認事項に印をつけて「受けます」。どちらも、明日～7日のうちに伺います。

2 行く前に、道と周り確かめる

避難の指示・通行止め・垂れた電線・倒れた木・水たまりがあれば行かない。**行けないときは、メールの返信ですぐ知らせる**（評価には入りません。他の方をお願いし直します）。

3 いつもの8か所を撮る

危ない所には近づかず、見える範囲で。前回の写真と同じ位置・同じ向きで撮ると、違いがお客様に伝わります。

4 被害らしき所を選んで報告

屋根・雨どい・窓と戸・塀と門・倒れた木と飛んできた物・水につかった跡を「なし・あり・見えない」から。「あり」があれば「様子見」か「対応が必要」を選び、場所を一言で。

見たままを伝える（例）

- 屋根の瓦が1枚ずれて見える
- 北側のブロック塀にひびがある
- 庭の木が道路側に倒れている
- 玄関の前に泥の跡がある

しないこと

- × 「修理が必要」と判断する・業者を勧める
- × 直す・片づける・倒れた木を切る
- × 屋根に上る・門や塀を越える
- × 保険の手続きの話をする

お客様は遠くにいて、**写真だけが頼り**です。あわてず、いつもどおり丁寧に。ご報告は「見たままのお知らせ」で、建物の診断ではありません。